

2011年1月



年頭にあたって

代表理事組合長 高橋 光秀

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には輝かしい新年を御家族お揃いで迎えられたことを心からお慶び申し上げます。

昨年の営農を振り返りますと、春先は天候不順により播種作業が大変遅れましたが、7月上旬からの過去に類のない異常な猛暑の影響で、収量・品質ともに低下し、農畜産部門において、大変厳しい結果となった1年でありました。組合員の皆様方の流した汗や日々の営農努力が報われなかった事は大変残念なことでありました。

このような状況下ではありましたが、当組合の本年度収支見通しは当初事業計画を概ね達成できるものと考えております。このことは組合員の皆様方の各事業に対する御理解・御協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本年も農業を取り巻く情勢は国際的にも国内的にも大変厳しい状況にある事には変わりはありません。今年からは畑作においても戸別所得補償制度が導入され、品目によっては前制度より支援水準が下がる作物がある中で、今後、健全な輪作体系維持や所得確保の面で農協として制度への周知・指導に努めていきたいと考えております。

また10月1日に菅首相が唐突に打ち出した TPP（環太平洋連携協定）参加表明は日本農業の現状を無視した慎重さを欠いた対応で、一部の輸出企業だけの利益をもたらすだけで、農業ばかりでなく地域産業をも崩壊させるものです。これは組合員の皆様と共に系統組織を挙げて、断固として参加反対に取り組んでいかなければならない重要な問題と捉えております。

一方で私たちは食料を生産する立場として食料自給率の重要性を理解してもらうことが大切であり、今まで以上により安全・安心な食材を消費者に提供し、お互いの信頼関係の絆を育てることが、国民の農業に対する理解を深める礎となるものと考えております。

今後、日本経済の低迷や世界貿易の動向による農業への影響が懸念されますが、この農業の大転換期といわれる時代にこそ組合員・役員・職員がお互いの役割を再認識し、心をひとつにして足腰の強い組合づくりに邁進していかなければならないと考えています。

最後に本年が皆様方と共に豊穡の秋を迎えられる事と、併せて組合員・御家族の御健勝を祈念いたしまして新年の御挨拶といたします。

JA十勝地区 女性協議会研修会

12月16日から1泊2日で、JA十勝地区女性協議会が十勝川温泉ホテル大平原で行われ、十勝の各JA女性部から集まった250名が研修を受けました。

研修では、中札内、芽室、木野、上士幌の組織活動体験発表が行われ、JA芽室の「女性部の拠点はJAに」が女性部組織の強化と活動の活発化、JAとの結び付きが表れていると高い評価を受けて最優秀賞に選ばれ、4月に開催されるJA北海道女性部幹部研修会で十勝代表として発表することになりました。

続いて、落語家の林家うん平師匠を招き「笑いの力で人も地球も健康に」と題し講演を行い、参加者を楽しませました。

懇親会では、札内、帯広大正、



十勝清水の3JAがアトラクションの当番となり、練習の成果を披露しました。札内は参加者11名が「ミッキーマウスマーチ」をステージ全体で飛び跳ねるように踊り回り、ポーズを決めると会場からは「かわいい」などと歓声と拍手に沸き、おひねりの飛び場面もあり会場を多いに盛り上げました。

2日目は、「振込め詐欺防止講習会」が行われ、帯広警察署生活安全課の担当者が寸劇で、詐欺の恐ろしさを伝えました。
普段交流することがない他のJA女性部の方々と交流を持つことができ、大変勉強になった研修だったようです。

女性部つどいの会

ステンドグラスづくりに挑戦



Geranium pratense L.



女性部恒例のつどいの会が1月26日、十勝川温泉・観月苑で開かれ、部員20名が参加しました。
午前中の研修会は、砂糖以外に医療品など幅広い用途がある甜菜について学習。甜菜を原料とした化粧品の実用的な活用方法、お肌の手入れ法を学びました。午後からは帯広市内のステンドグラス工房の武中朋子さんを講師に、簡単にできるステンドグラスの工芸製作を楽しみました。